



# 琵琶湖にまつわるエトセトラ

# MML

onthly other lake

プロガイド・おくむらさとしが  
琵琶湖の釣果情報、必須ルアー  
そして旬の話題などなど、気になる  
情報満載で毎月お届けします。  
これさえ読めば、琵琶湖で  
ポーズの心配はナン!ぜひご一読を。  
おくむらさとし=報告



2010年  
大流行!

今年の琵琶湖で最も流行したのは、PEラインでしょう。オオモノがたくさん生息する琵琶湖でも、切れる心配ナンなのです



今年も残すところあとわずかになってきました。すでにバスフィッシングはオフシーズンを迎え、これから旬を迎える他魚種を釣りに行かれたり、雪山へ遊びに行く準備をされている方も多いのではないのでしょうか。ちなみにボクは12月も1月も、ベースは少々落ちますが琵琶湖湖上の人であります。年間釣行日数が200日に迫るバスアングラーとしての冬も休みなしなのです。そんなわけで、この時期になると各方面で1年を締めくくるような特集が見られるようになりますね。今年の10大ニュース「なんてアレですってことで、今回は琵琶湖ガイドとしての視線で、今年2009年に琵琶湖で一番ブレイクしたモノを、独断と偏見で紹介したいと思えます。みなさんは、今年一番琵琶湖でブ

## 今月のひまわり

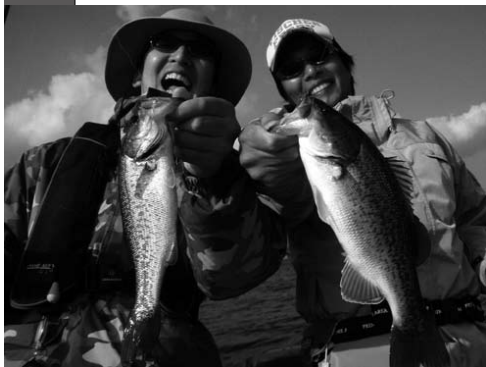
レイクしたモノはなんだと思いますか? あのルアー、あの新メソッド、あの人、いろんなモノがありましたから悩みますね。でも何を隠そう、ボク的にはアレしかなと思っていました。そう「PEライン」です。

跳ねジャコに代表されるハネジグヘッド、そしてパンチングやヘビータキカス、さらにはシャッドテールワームのノーシンカー、今年の琵琶湖は多岐に渡ってPEラインの出番が多くなりました。これまでも何人かのガイドさんや、ベテランアングラーさんが使われていたのですが、今年ほど注目されることはなく、細々と使われていたにすぎません。それが今年は、一気に一般アングラーさんに浸透していきました。何がキッカケになったのかは定か

## 今シーズン、琵琶湖で 大ブレイクしたアイテムとは?

はありませんが、とにかく釣具屋さんに行く、品薄の状態が続くこととなりました。

PEラインという、かつては、トーナメントシーンで「パワーフィネス」として流行の兆しを見せたことがありました。でも、結果的にごく限られたアングラーだけの流行となり、大きな流れになることはできなかったんじゃないかとボクは思います。しかし、その「パワーフィネス」によって、多くのアングラーの意識の中にPEラインが入り込み、今年の琵琶湖でのブレイクの引き金になったのは間違いありません。PEラインの最大の特徴は「引っ張り」に対する強度です。バスの引っ張り、つまり、引きだけで切れることなくってほばないんじや



今年もあとわずか。冬でもガイドは絶賛営業中ですよ~!



年間釣行200日のボクは、ベースは多少落ちますが、12月も1月も、湖上の人になるので。寒さなんて関係ない! 冬でも出撃~!!

2010年  
ついに公開!

### ビックサイズ ジャコビー 「オヤビー(仮称)」

もうすぐ2010年、ってことで、今年一年をかけてテストしてきた数々のアイテムが、いよいよ公開となります。まだまだもうちょっと時間が掛かりそうなモノもありますが、いくつかは完璧な仕上がりが。そのうちの1つがジャコビーのデカイ版「オヤビー(仮称)」。ジャコビーとは違った妖しい動きをしますよ。乞うご期待!



PEラインは根ズレに弱いのですが、琵琶湖ではそれほどハードなストラクチャーは存在しません。だから切られる心配ナン。これも流行した理由でしょうね

ないでしょうか。ですので、オオモノがたくさん生息する琵琶湖では重宝するのです。どんなに大きいバスが掛かって、ちょっとやそつとでは切れませんから。ですが、そんなPEラインにも弱点があります。それは根ズレに対する弱さです。魚が掛かり、コンクリや岩、ときには木、そんな硬いもので根ズレを起こすと「あの引っ張りの力は何だっただの?」というくらいに簡単に切れます。でも、琵琶湖にはそんなハードなストラクチャーがほとんどありません。ほとんどがウイードのようなソフトストラクチャーです。そういった意味でも、琵琶湖でPEラインが大ブレイクしたのも頷けますね。

PEラインが大流行した2009年、さて来年はどうなるのか? 願わくは、ぼくの作ったモノが大流行してくれればいいのですが。世の中、そんなに甘くありませんね。